

## 人口移動（生涯移動回数）

更新日：2007.4.24

### <代表値>

男性：4.5 回

女性：4.0 回

### <代表値のもととなる資料>

国立社会保障・人口問題研究所（2003）は、社会保障・人口問題基本調査の一環として、ほぼ5年ごとに人口移動調査を実施している。人口移動調査は、日本における人口移動の実態を調べるために行われている全国規模の調査である。調査は、厚生労働省が実施する国民生活基礎調査で設定された調査地区内から無作為に選ばれた調査地区の世帯主および世帯員を対象としている。

代表値の根拠とした1996（平成8）年の調査では、実際の調査対象となった世帯数は15,131世帯、そのうち有効回答は14,083世帯であった。調査結果は、対象者が生まれてから現在（調査時点）までの転居回数がまとめられており、全年齢での平均移動回数は、男性3.21回、女性3.03回、男女をあわせた全体では3.12回と報告されている。生涯の平均移動回数は年齢が高くなるほど多くなる傾向があるが、青年期が高度経済成長期と重なった50歳代が最も移動回数が多く、それより上の世代では移動回数がやや少なくなっている。

代表値としては、各性別について、回答された移動回数が頭打ちとなる40歳以降の回数の概数から、男性4.5回、女性4.0回とした。

年齢区分別転居回数（生まれてから調査時点まで）

		総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男	人数	19,719	1,059	1,137	1,179	1,239	1,421	1,352	1,344	1,297	1,385	1,705	1,310	1,219	1,221	1,011	678	398	244	136
	平均移動回数（回）	3.21	0.42	0.92	1.13	1.39	2.01	2.90	3.80	3.94	4.44	4.34	4.60	4.37	4.24	4.10	4.56	4.32	3.57	3.82
女	人数	20,296	931	1,069	1,176	1,170	1,322	1,431	1,366	1,259	1,344	1,628	1,312	1,236	1,253	1,126	862	576	413	306
	平均移動回数（回）	3.03	0.40	0.83	1.11	1.33	1.97	2.88	3.55	4.03	4.00	3.89	3.88	4.17	3.83	4.07	3.40	3.80	3.32	3.13

出典：国立社会保障・人口問題研究所（2003）

### <追加的情報>

なし

### <数値の代表性>

◇ 代表値の信頼性：低

調査対象や人数の観点からは信頼性は高いと言える。しかし、生涯の移動回数自体の調査結果ではなく、中高年以降で回答された移動回数を生涯の移動回数の概数としており、世代ごとに移動に関する時代背景が異なるという問題もある。これらのことから、代表値としての信頼性は低いとした。

◇ 代表性に関する情報

代表値のもととなる資料

国立社会保障・人口問題研究所（2003）が行う1996（平成8）年の人口移動調査は、厚生労働省が実施

## 人口移動（生涯移動回数）

更新日：2007.4.24

---

する国民生活基礎調査で設定された調査地区内から無作為に選ばれた調査地区の世帯主および世帯員を対象としており，調査世帯は 15,131 世帯，そのうち有効回答は 14,083 世帯である。

◇ 入手できた資料の数

上記の 1 資料のみであった。

### <引用文献>

#### 代表値

国立社会保障・人口問題研究所（2003），第 4 回人口移動調査（1996 年 7 月 1 日実施）について，  
<http://www.ipss.go.jp/ps-idou/j/migration/migration96.html>（アクセス日：2006.10.13）.

### <更新履歴>

2007.4.24 / 新規にデータを公開しました